

2024年3月15日
株式会社エフピコ

関西工場・関西ハブセンター屋根上太陽光発電による 再生可能エネルギー調達開始のお知らせ

当社は、三井物産プラントシステム株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:谷垣匡輝、以下「MPS」)との電力購入契約(PPA※1)に基づき、当社関西工場・関西ハブセンター(兵庫県小野市※2)に設置した太陽光発電の契約運転を開始しましたのでお知らせいたします。

なお、契約運転開始をもって、同施設の屋根上発電所は三菱HCキャピタルエナジー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:打田欣生)に譲渡され、同社が PPA 事業者として事業期間の発電所運営を行います。また MPS は引き続き本発電所の事業運営を支援します。

<概要>

設置拠点	関西工場・関西ハブセンター
PPA事業者	三菱HCキャピタルエナジー
所在地	兵庫県小野市池尻町
年間計画発電量	1,726,163kWh
年間CO ₂ 削減量	689,602 kg-CO ₂
契約運転開始日	2024年3月15日

この度の契約運転開始によって発電した電力を当社が全量購入いたします。その結果、関西工場・関西ハブセンターの太陽光発電の他、2022年3月に運転を開始した関東エリア及び2022年10月に運転を開始した中部エリアの太陽光発電設備で発電した電力量で、全国3カ所のリサイクル工場で使用する全量相当をカバーすることが可能になります。これにより、再生原料製造工程でのCO₂排出量がゼロになることから、石油由来製品と比較したエコトレーのCO₂排出削減効果が現状の30%から37%に上昇する見込みです。(※3)

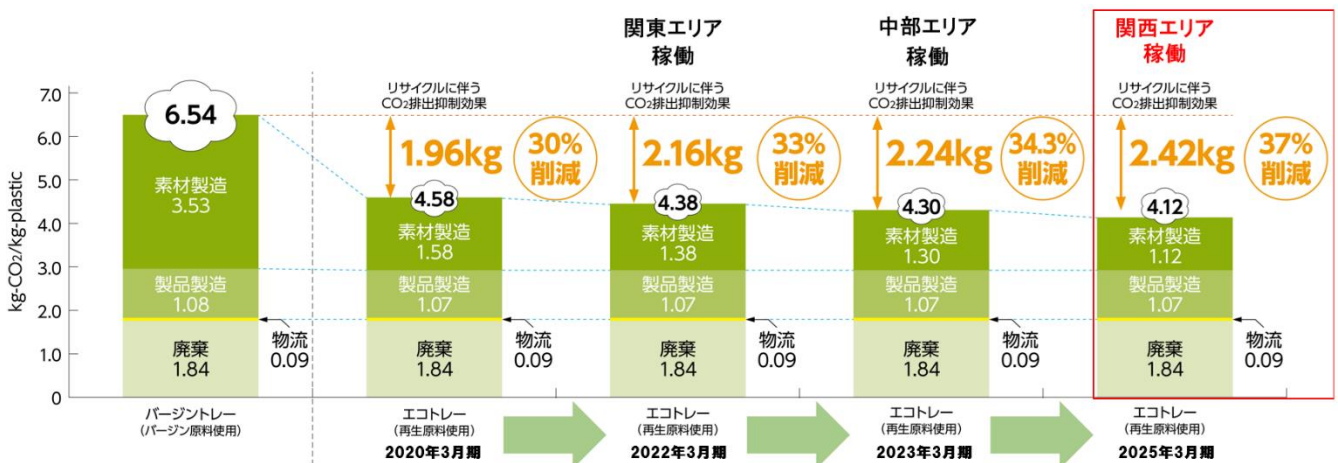
引き続き、当社及びMPSは環境負荷低減を更に加速させるため、再生可能エネルギーを積極導入することで低炭素社会の実現と持続可能な社会の構築を目指してまいります。

(※1)電力購入契約「PPA(Power Purchase Agreement)」とは、電力会社等の PPA 事業者が、電力需要家の敷地や屋根などを借り受け、太陽光発電設備を設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデルのことです。

(※2)関西工場及び関西ハブセンターに設置した太陽光パネル



(※3)エコトレーの CO₂ 削減効果



(関連リリース)

2021/2/1「使用済み容器リサイクルによるカーボンオフセット実現に向けエフピコと三井物産グループが屋根上太陽光発電の協業開始」

[press keieikikaku 20210201.pdf \(fpc.jp\)](#)

2021/7/19「三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約(PPA)締結のお知らせ」

[press keieikikaku 20210719.pdf \(fpc.jp\)](#)

2022/3/10「太陽光発電による再生可能エネルギー調達開始のお知らせ」

[press keieikikaku 20220310.pdf \(fpc.jp\)](#)

2022/4/4「中部エリアにおける再生可能エネルギー調達に向けた三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約(PPA)締結のお知らせ」

[press keieikikaku 20220404.pdf \(fpc.jp\)](#)

2023/3/31「福山リサイクル工場向けの再生可能エネルギー調達にあたり三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約(PPA)締結のお知らせ」

[press keieikikaku 20230331 2.pdf \(fpc.jp\)](#)

以上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ 経営企画室 TEL:03-5325-7756